



※一部画像をクリックすると該当ページへ接続されます。

## 自宅から読める「図書」にアクセスしてみよう



図書館には、紙と電子の2種類の資料が所蔵しています。

書棚に並んでいる紙の本は、主題ごとに分類されています。書棚に足を運ぶと、関連した本が周辺に並んでいるので、新たな発見や必要としていた本が見つかることも多くあります。

一方、電子書籍は、キーワードを入力することによって、必要としているテーマを一括で絞り込むことができます。

自分に合った方法で図書館を活用してみましょう。

### 電子ブック

・図書館トップ > データベース > 電子ブック・電子コレクション

・図書館トップ > 蔵書検索(OPAC)

・図書館トップ > IZUMI-LIBRARY > 利用説明動画 > 電子ブックの使い方

24時間いつでも利用ができ、目次や本文からの検索が可能です。

スマートフォンからでも読むことができます。

東北学院大学図書館では12/1現在、電子ブックを4,095冊所蔵しています。

様々なテーマやジャンルがありますので、図書館ホームページの蔵書検索(OPAC)から検索してみてください。



ログイン時に MyTG と同じ  
ID・Password を入力すると  
学外からも接続可能です。



国立国会図書館は日本国内で出版されたすべての出版物を収集・保存しています。

「国立国会図書館デジタルコレクション」はデジタル化した所蔵資料や収集したデジタル資料を検索・閲覧・視聴できるサイトです。Web上で自由に閲覧できる資料以外に、登録図書館限定で閲覧できる資料があります。図書は、1968(昭和43)年までに受入れた戦前期・戦後期刊行図書、議会資料、法令資料、児童書、震災、災害関係資料を中心に収録しています。そのうち著作権処理が完了した資料がWeb公開されています。

東北学院大学図書館では、図書館限定公開資料の閲覧、複写ができます。※利用には申請が必要です。



## e-Stat 政府統計の総合窓口

日本の政府統計に関する情報がまとめられている政府統計ポータルサイトです。

各府省等が登録した統計表ファイル、統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報、統計分類等の各種統計関係情報が提供されています。

冊子体で出版されている「白書」や総合統計書のデータも含まれています。



# 開館時間・貸出について

## ■ 図書館開館時間

|                              | 中央図書館         | 中央図書館<br>分室                       | 泉キャンパス<br>図書館 | 多賀城キャンパス<br>図書館 |
|------------------------------|---------------|-----------------------------------|---------------|-----------------|
| 通常開館                         | 8:30 ~ 22:00  | 10:00 ~ 21:00<br>※土曜日 10:00~17:00 | 8:30 ~ 20:00  |                 |
| 12/23(木)、24(金)、27(月)         | 9:00 ~ 19:30  | 10:00 ~ 18:00                     | 9:00 ~ 17:00  |                 |
| 12/25(土)、<br>12/28(火)~1/3(月) | 休館            |                                   |               |                 |
| 集中講義<br>1/4(火) ~ 7(金)        | 9:00 ~ 19:30  | 10:00 ~ 18:00                     | 9:00 ~ 18:00  | 9:00 ~ 17:00    |
| 大学入学共通テスト準備<br>1/14(金)       |               |                                   | 9:00 ~ 17:00  |                 |
| 大学入学共通テスト<br>1/15(土)         |               | 休館                                |               |                 |
| 学部春休み期間<br>1/31(月) ~ 3/31(木) | 9:00 ~ 19:30  | 10:00 ~ 18:00<br>※土曜日は休館          | 9:00 ~ 17:00  |                 |
| 前期日程入試<br>2/1(火)、2(水)        | 15:00 ~ 19:30 | 15:00 ~ 18:00                     |               |                 |
| 後期日程入試<br>3/4(金)             | 13:00 ~ 19:30 | 13:00 ~ 18:00                     |               |                 |

※新型コロナウイルスの状況によっては、開館時間に変更になる場合もあります。最新情報は、図書館ホームページでご確認ください。

※利用対象は学内関係者のみとし、学外者(一般、同窓生、退職者、中高生)は、引き続き利用停止とします。

※学内感染防止対策の徹底(マスク着用義務化・入構時の検温・手指の消毒等)にご協力願います。

なお、利用者が多数になった場合などには入館をお断りすることがあります。

## ■ 学部学生の長期貸出

| 貸出期間                 | 貸出冊数 | 返却期限日    |
|----------------------|------|----------|
| 12月9日(木) ~ 12月27日(月) | 10冊  | 1月14日(金) |
| 1月31日(月) ~ 3月31日(木)  |      | 4月15日(金) |

※卒業及び修了予定の学生の返却期限は、3月31日までになります。

# 先生の本棚

本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。  
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。

文学部・教育学科

『奥の細道』—松島は笑ふが如く、象潟はうらむがごとし—

渡辺 通子 先生

松尾芭蕉著

(中央・泉キャンパス・多賀城キャンパス図書館所蔵)

『奥の細道』は教科書に取り上げられるので、皆さんご存じの一冊である。ここでは古典ではなく、地元、地域の俳諧文学として取り上げた。芭蕉一行は、福島から宮城の白石に入り、岩沼から北上して仙台に宿泊、それから多賀城、塩竈、松島、石巻へと向かう。そして岩手の中尊寺を訪ねて再び宮城に戻り、鳴子峡から山形、秋田へと移動した。奥の細道の旅は、人との出会いの旅でもあった。皆さんの地元息づく芭蕉の息遣いを見つけてみては…。底本は、芭蕉直筆とされる野坡本、随行した曾良による曾良本、柿衛本、西村本等があるがいずれでもよい。敢えて写真は No IMAGE とした。まずは手にとってみよう。

法学部・法律学科

『巨大訴訟(上)(下)』

辻田 芳幸 先生

ジョン・グリシャム著, 白石朗訳 新潮社, 2014

(泉キャンパス図書館所蔵)

著者は、弁護士経験を持ち、『法律事務所』や『ペリカン文書』の作者としても知られる。アメリカには懲罰的損害賠償という日本にはない制度があり、実損害の何倍もの賠償を命じられることがある。本作品において大規模なマネーゲームの様相を呈している損害賠償請求訴訟は、被害者の救済という法目的の陰でビジネスの色彩を放っている。果たしてそこに「正義」はあるのか。他方で、主人公弁護士が巨大製薬会社と対決しながら自らを成長させていく姿がまぶしく描かれている。白石朗の翻訳は自然で、法律知識がなくても読みやすい。



工学部・機械知能工学科

『君主論』

加藤 陽子 先生

マキアヴェリ著 池田廉訳 中公文庫, 2018

(多賀城キャンパス図書館所蔵予定)

想像上のあるべき姿ではなく、現実に存在する姿に目を向ける事。史実を例に展開される解説は、明快であると同時に説得力がある。困難な状況下、問題解決に向かう事から逃げ、善人である事によって自身を納得させようとする時、この本が目につく。100分de名著 マキアヴェリ『君主論』(NHK テレビテキスト 講師:武田好)、マキアヴェリ語録(塩野七生著、新潮社)、マキアヴェリが理想の君主とするチェーザレを描いた、チェーザレ 破壊の創造者(惣領冬実著、原基晶監修、講談社)もお勧め。



教養学部・地域構想学科

『イエスという男』

大澤 史伸 先生

田川健三著 作品社, 2004

(中央・泉キャンパス図書館所蔵)

『本書は、キリスト教に全く興味がない人に読んでもらいたい本である。本書では、イエスの出生について、「イエスの誕生にまつわって福音書に伝えられた物語は、いずれも、その死後半世紀近くたってからつくられた伝説である。」と言う。また、イエスの復活は、「イエスは、『復活』させられる。その次には、イエスの死の意味づけがはじまる。ついには、イエスという救済者は十字架の死によって世の人々を救うために此の世に来たのだと、と言われるようになる。」とある。

このように、田川氏の描くイエス像は、私のようなキリスト教原理主義者のようなクリスチャンには「このおっさん、何を言っているんだらう!？」と思わず言ってしまう(田川先生、御免なさい)。でも、気が付くと私が読んだ田川氏の本にはいつしかアンダーラインが引かれ、付箋がメチャクチャついている。そして、不思議と聖書の中のイエスが飛び出てきて、昔も今も汗だくになって走り回っている姿を思い浮かべてしまうのである。是非、一読あれ!!

